

岐阜県のアリヅカムシ相に関する記録と考察

野村周平¹⁾・亀澤 洋²⁾

¹⁾ 国立科学博物館動物研究部 (nomura@kahaku.go.jp)

²⁾ 〒 350-0825 川越市月吉町 32-17

Records and discussion on the pselaphine fauna of Gifu Prefecture, Central Japan

Shuhei NOMURA and Hiromu KAMEZAWA

1. はじめに

岐阜県は本州の中央部に位置し、その県土は非常に広く (10,621 km²)、最高標高も高い (3,190 m 奥穂高岳)。また、自然度の高い森林が保存されている領域も広いので、きわめて多種類のアリヅカムシが分布していることは想像に難くない。本県におけるアリヅカムシ相は、野村・鈴木 (1993) によって初めて纏められ、過去の記録も含めて 30 種が記録された。その後断片的な報告はあったものの、全県的にまとめられるには至っていなかった。

その間、近隣各県におけるアリヅカムシ相の解明は徐々に進捗し、ハネカクシ談話会ホームページ掲載の「アジアのアリヅカムシデータバンク」には、以下の 1 府 5 県の記録が搭載されている(カッコ内は記録されている種数): 静岡県 (48 種 1 亜種)、三重県 (79 種)、新潟県 (66 種)、長野県 (57 種)、福井県 (26 種 + 6 疑問種)、京都府 (87 種)。これをみるといずれも充実したリストが公表されており、本県をとりまく他地域のアリヅカムシ相解明レベルはかなり高い。

しかし、豊島ほか (2015) により、岐阜県の甲虫相全体が取りまとめられた結果、アリヅカムシについては、54 種の既知種と 12 種の未記載種、合計 66 種が記録された。これは画期的な業績であり、ようやく岐阜県のアリヅカムシ相も先進他県と比較検討することができるようになった。しかし本リストは、未記載種の取り扱いについて、筆者らと若干の差があり、岐阜県から何種のアリヅカムシが記録されているかということについて、必ずしも見解が一致していない。

今回筆者らは、ハネカクシ談話会の採集会が岐阜県南東部の上矢作地域 (図 1) で実施されたことを契機に、現地での採集調査を行い、若干の岐阜県初記録種を追加するとともに、岐阜県から何種のアリヅカムシが見いだされているのかを明らかにしようとした。さらに同採集会に参加された三重県四日市市の横関秀行氏から、同所で採集され

たアリヅカムシ標本のご恵与を頂いたので、その記録を以下に追加した。以上の結果、種が特定された未記載種を含めて、75 種が記録されることとなった。以下にその詳細を記録しておく。

2. 岐阜県内から採集されたアリヅカムシ類のリスト

今回岐阜県から新たに記録される種については種名の末尾に * 印で示し、種の解説を記した。

ナガアリヅカムシ上族 Supertribe Euplectitae

1) *Bibloporus* sp. 1

通常は枯木の樹皮下や倒木中から得られる、または FIT で採集されることもよくあるが、以下の記録は林床リター中からツルグレン装置によって抽出されたものである。

<採集データ> 1♀, 美濃市瓢(ふくべ)ヶ岳 (770 m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集。

2) マルガタオチバアリヅカムシ *Philoscotus brevis* K. Sawada, 1957

<採集データ> 2♀, 美濃市瓢ヶ岳 (770 m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集; 2♀, 同片知溪谷 (550 m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集。

3) ナガオチバアリヅカムシ *Philoscotus longulus* K. Sawada, 1957

本州、四国、九州に産し、樹林の落葉中からきわめて普通に発見される。

<採集データ> 1♀, 中津川市阿木黒井沢本谷林道, 17. x. 2015, 横関採集。

ムネトゲアリヅカムシ上族 Supertribe Batrisitae

4) タカオトゲアリヅカムシ *Batrisodes (Excavodes) dorsalis* Jeannel, 1958

顕著な中型のムネトゲアリヅカムシで、関東中部地域では広葉樹林の落ち葉に普通にみられるが、他の地域では全く発見されない。岐阜県の本種は

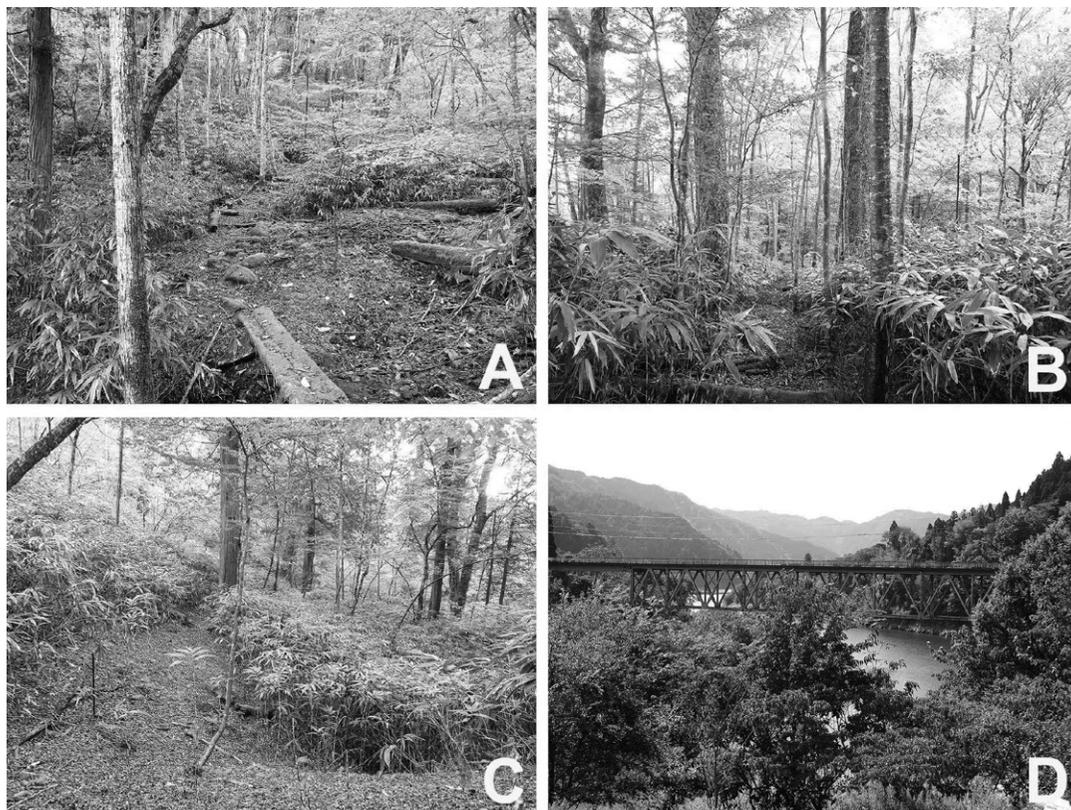


図1. 岐阜県におけるアリヅカムシの採集環境. A: 恵那市アライダシ原生林; B: 同左; C: 同左ツルグレン試料採集地点; D: 奥矢作レクリエーションセンターから奥矢作湖を望む(恵那市串原).

本種の分布の西限に近いと考えられる

<採集データ> 1♂, 恵那市上矢作町アライダシ原生林 (1,150m), ハンドソーティング 16-17. x. 2015, 野村採集; 3♀, 同左, ツルグレン抽出, 17. x. 2015, 野村採集.

※ *Batrisesodes?* sp.

♀ 個体のみのため, 種の特定はできない.

<採集データ> 1♀, 中津川市阿木黒井沢本谷林道, 17. x. 2015, 横関採集.

5) *Petaloscopus* sp. 1 (図2C, D)

次項のリストに挙げられている未記載種で, 分布域は非常に広い. 青森県の日本海側から, 日本海岸にそって北陸, 近畿地方まで分布している. 岐阜県下からはすでに, 高山市一の宮町奥および奥飛騨温泉福地から記録されている. ♂ 交尾器の形状には若干の地域変異が認められる.

<採集データ> 1♂2♀, 大野郡白川村白川公園線, 27. x. 2012, 横関採集.

6) *Petaloscopus* sp. 3* (図2G, H)

ヒゲブトムネトゲ属の未記載種で, 現在のところ, 他の地点からは全く得られていない独自の種である. 野村 (2013) によりすでに発表され, 豊島ほか (2015) にも引用されているが, 種番号は付されていない.

<採集データ> 3♂2♀, 美濃市瓢ヶ岳 (770 m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集; 9♂12♀, 同片知溪谷 (550 m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集.

7) *Petaloscopus* sp. 4* (図3A, B)

前種と同属の未記載種で, 外見での区別は非常に困難である. ♂ 交尾器を検したところ, 他に石川県, 福井県から発見されている種 (sp. 3W) であることが判明した.

<採集データ> 1♂, 恵那市上矢作町アライダシ原生林 (1,150 m), ハンドソーティング, 16-17. x. 2015, 野村採集; 7♂4♀, 同左, ツルグレン抽出, 17. x. 2015, 野村採集; 1♂1♀, 同左, 18. x. 2015, 横関採集; 2♂4♀, 中津川市阿木黒井沢本谷林道, 17. x. 2015,

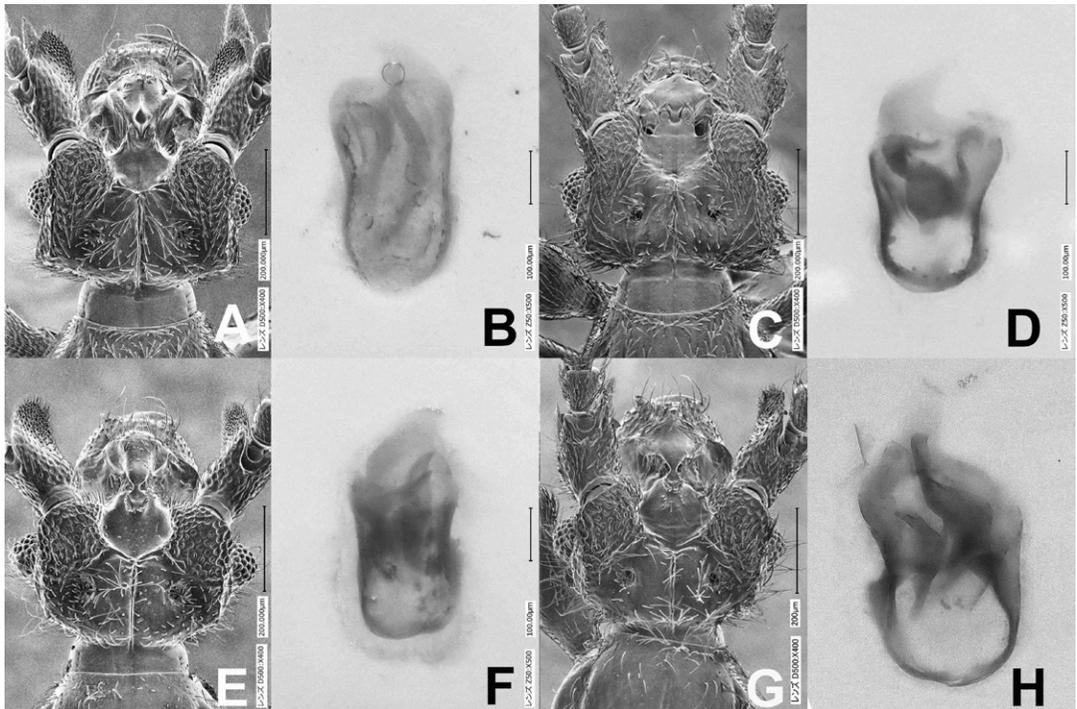


図2. 岐阜県産*Petaloscapus*属4種の特徴。A, B: エラハリヒゲトムネトゲアリヅカムシ (旧徳山村産) ; C, D: *Petaloscapus* sp. 1 (高山市平湯産) ; E, F: *P. sp. 2* (可児市鳩吹山産) ; G, H: *P. sp. 3* (美濃市片知産) ; A, C, E, G : ♂頭部背面 ; B, D, F, H : ♂交尾器背面。

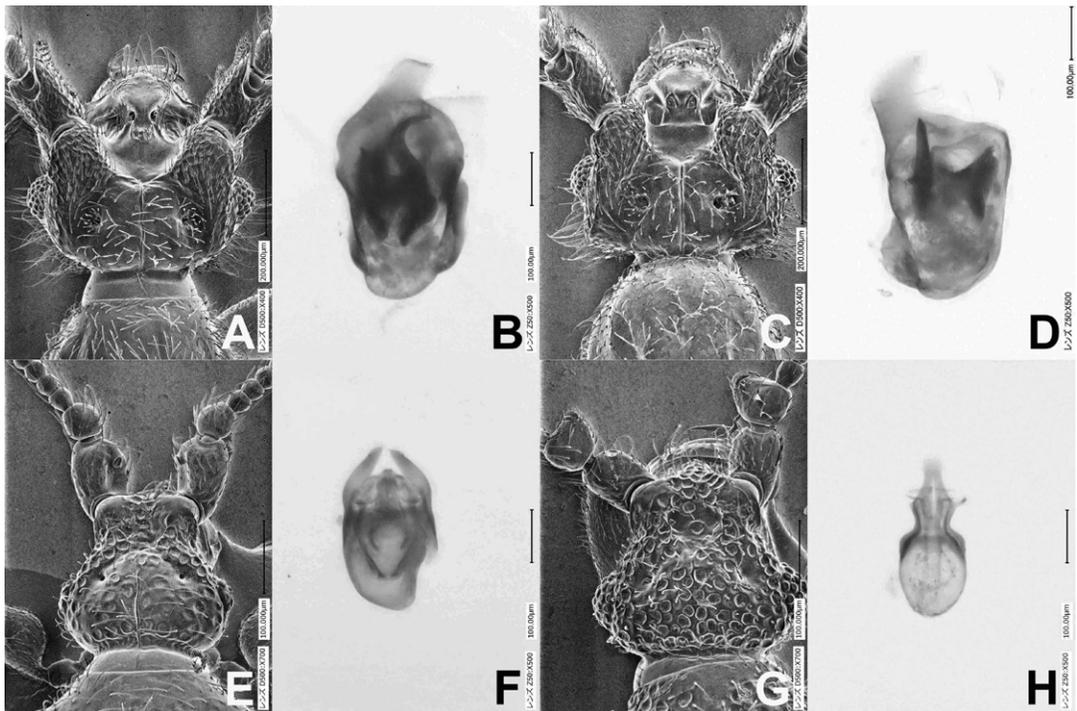


図3. 岐阜県産*Petaloscapus*属2種および*Bryaxis*属2種の特徴。A, B: *Petaloscapus* sp.4 (恵那市アライダシ原生林産) ; C, D: *P. sp. 1* (中津川市阿木産) ; E, F: マユミオノヒゲアリヅカムシ (美濃市片知溪谷産) ; G, H: *Bryaxis* sp. 1 (白川村白川公園線産) ; A, C, E, G : ♂頭部背面 ; B, D, F, H : ♂交尾器背面。

横関採集。

8) *Petaloscapus* sp. 5* (図3C, D)

同じく本属の未記載種で、♂交尾器の検視によると、近隣地域では全く見つからない種であった。あえて近いものを求めると、和歌山県本宮で採集されている種の♂交尾器を左右逆転した形状によく似ている。しかし資料が十分でないため、現状でははっきりとした確認はできない。

〈採集データ〉1♂, 中津川市阿木黒井沢本谷林道, 17. x. 2015, 横関採集。

9) アナズアリヅカムシ *Batrisceniola dissimilis* (Sharp, 1874)

〈採集データ〉3♂2♀, 美濃市瓢ヶ岳 (770m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集; 9♂12♀, 同片知溪谷 (550 m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集; 2♂1♀, 恵那市上矢作町アライダシ原生林 (1,150 m), ハンドソーティング, 16-17. x. 2015, 野村採集; 5♂8♀, 同左, ツルグレン抽出, 17. x. 2015, 野村採集。

オノヒゲアリヅカムシ上族 **Supertribe Goniaceritae**

10) マルムネアリヅカムシ *Triomicrus protervus* (Sharp, 1874)

〈採集データ〉1♂1♀, 大野郡白川村白川公園線, 27. x. 2012, 横関採集; 1♂1♀, 美濃市瓢ヶ岳 (770 m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集; 6♂3♀, 同片知溪谷 (550 m), 27. x. 2015, 野村採集; 4♂9♀, 恵那市上矢作町アライダシ原生林 (1,150 m), ツルグレン抽出, 17. x. 2015, 野村採集; 1♂2♀, 中津川市阿木黒井沢本谷林道, 17. x. 2015, 横関採集。

11) ザウターオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis sauteri* Raffray, 1909

〈採集データ〉7♂5♀, 美濃市瓢ヶ岳 (770 m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012; 7♂8♀, 同片知溪谷 (550 m), ツルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集; 1♀, 同左, 28. x. 2012, 横関採集; 1♀, 恵那市上矢作町アライダシ原生林 (1,150 m), ハンドソーティング, 16-17. x. 2015, 野村採集; 4♂7♀, 同左, ツルグレン抽出, 17. x. 2015, 野村採集; 1♂2♀, 中津川市阿木黒井沢本谷林道, 17. x. 2015, 横関採集。

12) マユミオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis mayumi* Löbl, Kurbatov et Nomura, 1998 (図3E, F)

小型の種で、♂は触角第1節が膨大する。

〈採集データ〉1♀, 美濃市瓢ヶ岳 (770 m), ツ

ルグレン抽出, 27. x. 2012, 野村採集; 4♂, 同片知溪谷 (550 m), 27. x. 2012, 野村採集。

13) *Bryaxis* sp. 1* (図3G, H)

マユミオノヒゲと同等に小型の種であるが、♂の触角第1節ではなく、第2節がやや膨大し、前方へ突出する。♂交尾器もきわめて特徴的である。

〈採集データ〉2♂1♀, 大野郡白川村白川公園線, 27. x. 2012, 横関採集。

14) チシマオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis extremalis* Kurbatov, 1990

〈採集データ〉1♀, 大野郡白川村白川公園線, 27. x. 2012, 横関採集。

ヒゲナガアリヅカムシ上族 **Supertribe Pselaphitae**

15) カギヒゲナガアリヅカムシ *Pselaphogenius orientalis* Besuchet, 1961

本種の本州中部における分布はNomura (2001) によってまとめられ、本県からはすでに高山市平湯から記録されているほか、近隣の愛知県面の木峠からも記録されている。アライダシ原生林で得られた本種の♂交尾器を詳細に検したところ、内部骨片の先端が鋭くとがる平湯のタイプではなく、先端が丸くなる面の木峠のタイプであることが判明した。

〈採集データ〉1♂, 恵那市上矢作町アライダシ原生林 (1,150 m), ハンドソーティング, 16-17. x. 2015, 野村採集; 8♂11♀, 同左, ツルグレン抽出, 17. x. 2015, 野村採集; 1♂1♀, 同左, 18. x. 2015, 横関採集。

16) *Labomimus* sp. 1*

本属は触角も脚も長い大型のアリヅカムシで、日本列島から2既知種が知られている。そのうちの1種であるアシナガアリヅカムシ *L. reitteri* は、東北、関東、中部地方の山地の落ち葉に普通にみられ、岐阜県からもすでに記録されている。しかし東海地方と近畿以西の西日本からは未記載種が数種発見されている。本種はそれらの中でもっとも東まで分布する種であり、他に静岡県、愛知県から発見されている。三重県以西から見出されているものとは別種である。アシナガアリヅカムシよりもやや小型であるが、♂の後類 (postgenae) が側方へ大きく張り出し、上面が大きく窪むことで区別できる。

〈採集データ〉2♂, 恵那市上矢作町アライダシ原生林 (1,150 m), ハンドソーティング, 16-17. x.

2015, 野村採集; 5♂1♀, 同左, ツルグレン抽出, 17. x.
2015, 野村採集; 1♂1♀, 同左, 18. x. 2015, 横関採集.

17) ヤマオトゲアリヅカムシ *Lasinus monticola* K.
Sawada

<採集データ> 1♂, 恵那市上矢作町アライダシ
原生林 (1,150 m), ツルグレン抽出, 17. x. 2015, 野
村採集.

以上 17 種を記録した. うち 6 種は岐阜県初記録
種となる.

3. 岐阜県産アリヅカムシ類目録

以下に, 岐阜県から記録されたアリヅカムシの種
を分類順に列記する. 豊島ほか (2015) の記載事項
などで修正すべき点があった場合には, 種名の後に
解説する. 未記載種については, 種が特定されてい
るものは, sp. 1, 2... 以下の番号を付し, 記録され
た地点の地名を再録する. 種が特定されていないも
のは種番号を付さず, ※印で示して種数にはカウン
トしない. 本稿で初めて岐阜県から記録される種に
ついては, 種名の後に*印で示した.

アリヅカムシ亜科 *Pselaphinae*

ナガアリヅカムシ上族 *Supertribe Euplectinae*

ナガアリヅカムシ族 *Tribe Euplectini*

1. *Euplectus* sp. 1 白川村大白川
Tribe Trichonychini, Subtribe Bibloporina
2. *Bibloporus* sp. 1 * 美濃市瓢ヶ岳
Subtribe Panaphantina
3. *Biblopectus* sp. 1 白川村大白川
4. マルガタオチバアリヅカムシ *Philoscotus brevis*
K. Sawada, 1957
5. ナガオチバアリヅカムシ *Philoscotus longulus* K.
Sawada, 1957 *

ムネトゲアリヅカムシ上族 *Supertribe Batrisitae*

Tribe Batrisini, Subtribe Batrisina

6. タカオトゲアリヅカムシ *Batrisodes (Excavodes)*
dorsalis Jeannel, 1958
7. アラメトゲアリヅカムシ *Batrisodes (Excavodes)*
stipes (Sharp, 1874)
8. *Batrisodes (Excavodes)* sp. 1 (*ornatifrons* group) 関
市板取 (高山市平湯と同種?)
9. タマヒゲオニアリヅカムシ *Batrisodes (Pubimodes)*
globifer Jeannel, 1958
10. *Batrisodes (Pubimodes)* sp. 1 根尾温見峠 (高山
市平湯と同種?)
11. エグリチイロアリヅカムシ *Batrisus politus*

Sharp, 1883

12. ホソキガムネトゲアリヅカムシ *Kigatrodes*
gracilis (Sharp, 1883)
13. ナガムネトゲアリヅカムシ *Batrisodellus longulus*
(Jeannel)
14. クゴウホラトゲアリヅカムシ *Batrisodellus coprea*
Tanabe et Nakane *
豊島ほか (2015) では落ちている.
15. ツヤクサアリアリヅカムシ *Dendrolasiophilus*
concolor (Sharp, 1883)
16. エラハリヒゲブトムネトゲアリヅカムシ
Petaloscopus temporalis temporalis Jeannel, 1958
(図2A, B)
17. ヒゲブトムネトゲアリヅカムシ *Petaloscopus*
basicornis (Sharp, 1883)

本種は現在まで関東山地~富士山のみから知ら
れており, 岐阜県内での分布は疑問.

18. *Petaloscopus* sp. 1 高山市一の宮町奥(4E), 高山
市奥飛騨温泉福地(4E?), 高山市平湯, 大野郡
白川村 (図2C, D)

豊島ほか (2015) では, 一の宮町と福地は別種
のように扱われているが, これらは同種の地域変
異程度に考えるべきであるので, 本稿では 1 種と
して取り扱う. 図 2 C, D には, 高山市平湯産の
標本を図示した.

19. *Petaloscopus* sp. 2 大野郡白川村, 可児市鳩吹山
(図2E, F)

本種には, 豊島ほか (2015) では種番号を与え
られていなかったが, 前種の取り扱いを上記のよ
うにした結果, 本種が sp. 2 に繰り上がるのが適当
である.

20. *Petaloscopus* sp. 3 * 美濃市片知 (図2G, H)
21. *Petaloscopus* sp. 4 * 恵那市アライダシ原生林
(図3A, B)
22. *Petaloscopus* sp. 5 * 中津川市阿木 (図3C, D)
23. *Tribasodites* sp. 1 揖斐川町小津
24. ラフレイフサヒゲアリヅカムシ *Trisinus raffrayi*
(Jeannel, 1958)
25. アラメハラクボアリヅカムシ *Batriscenellus*
(*Batriscenellus*) *puncticollis* (Sharp, 1883)
26. ヒメハラクボアリヅカムシ *Batriscenellus (Batri-*
scenellus) *fallax* (Sharp, 1883)
27. オオイシツヤアリヅカムシ *Batriscenellus (Scaio-*
scenellus) *ohishii* Nomura, 1991
28. ケモンツヤアリヅカムシ *Batriscenellus (Scaio-*
scenellus) *pilosellus* Nomura, 1991
29. ウエノツヤアリヅカムシ *Batriscenellus (Batri-*
scenellinus) *uenoi* Nomura, 1991

30. ニッポンアナバラアリヅカムシ *Batriscenellus* (*Nipponoscenellus*) *transformis* Nomura, 1991
31. ハケスネアリヅカムシ *Batriscenaulax modestus* (Sharp, 1874)
32. アナズアリヅカムシ *Batrisceniola dissimilis* (Sharp, 1874)
- オノヒゲアリヅカムシ上族 **Supertribe Goniaceritae**
 アトキリアリヅカムシ族 **Tribe Brachyglutini**
 アトキリアリヅカムシ亜族 **Subtribe Brachyglutina**
33. ダイコクアリヅカムシ *Rybaxis princeps* (Sharp, 1874)
- ※ *Rybaxis* sp.
34. ナミエンマアリヅカムシ *Trissemus alienus* (Sharp, 1874)
35. *Trissemus* sp. 1 ホハレ峠
36. *Trissemus* sp. 2 白川村
37. *Trissemus* sp. 3 (*T. curtus* group?) 高山市新穂高
38. スベマルムネアリヅカムシ *Triomicrus sublaevis* Raffray, 1909
39. ツヤマルムネアリヅカムシ *Triomicrus simplex* Sharp, 1883
40. マルムネアリヅカムシ *Triomicrus protervus* (Sharp, 1874)
41. トガリマルムネアリヅカムシ *Triomicrus sternalis* Löbl, Kurbatov et Nomura, 1998
- Tribe Iniochypini, Subtribe Natypleurina**
42. マメアリヅカムシ *Morana discedens* Sharp, 1874
43. ネジレヒゲアリヅカムシ *Takaorites torticornis* Jeannel, 1958
44. *Takaorites* sp. 1 本巢市根尾
- Tribe Bythinini, Subtribe Bythinina**
45. アルマンオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis harmandi* Raffray, 1909
46. ヤマトオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis japonicus* (Sharp, 1874)
47. サワダオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis sawadai* Löbl, Kurbatov et Nomura, 1998
48. ナギナタオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis naginata* Löbl, Kurbatov et Nomura, 1998
49. マユミオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis mayumi* Löbl, Kurbatov et Nomura, 1998 (図3E, F)
50. ザウターオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis sauteri* Raffray, 1909
51. ウスリーオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis koltzei* (Reitter, 1887)
52. トサオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis gracilipalpis* Jeannel, 1958
53. *Bryaxis* sp. 1* 白川村白川公園線 (図3G, H)
54. チシマオノヒゲアリヅカムシ *Bryaxis extremalis* Kurbatov, 1990
55. ネジレカマヒゲアリヅカムシ *Bythoxenites sulcithorax* Tanokuchi, 1990
56. ナガカマヒゲアリヅカムシ *Bythoxenites longiceps* Löbl et Kurbatov, 1996
 “*B. longiceps*” (豊島ほか, 2015) は誤植。
57. ヤマトオノヒゲアリヅカムシ *Tychobythinus japonicus* Löbl et Kurbatov, 1996
58. *Tychobythinus* sp. 1 高山市一の宮町
モリアリヅカムシ族 Tribe Tychini
59. シマムクゲアリヅカムシ *Tainochus insulicola* (Nomura et Lee, 1992)
60. タイリクモリアリヅカムシ *Tychus dichotomus* Nomura et Lee, 1992
- ヒゲナガアリヅカムシ上族 **Supertribe Pselaphitae**
 ヒゲナガアリヅカムシ族 **Tribe Pselaphini**
61. カギヒゲナガアリヅカムシ *Pselaphogenius orientalis* (Besuchet, 1961)
クシヒゲアリヅカムシ族 Tribe Ctenistini
62. ツヤクシヒゲアリヅカムシ *Poroderus medius* (Sharp, 1874)
 「ツヤクシヒゲツヤアリヅカムシ」(豊島ほか, 2015) は誤植。
63. ススキクシヒゲアリヅカムシ *Poroderus similis* (Sharp, 1874)
スジバネアリヅカムシ族 Tribe Odontalgini
64. スジバネアリヅカムシ *Odontalgus masaoi* Arai et Nomura, 2003
ヒゲカタアリヅカムシ族 Tribe Tmesiphorini
65. ヒゲカタアリヅカムシ *Tmesiphorus crassicornis* Sharp, 1883
66. オオヒゲカタアリヅカムシ *Tmesiphorus princeps* Sharp, 1883
67. ヒゲプトエクボアリヅカムシ *Raphitreus speratus* (Sharp, 1883)
68. セダカアリヅカムシ *Saltisedes brunneus* Kubota, 1944
- Tribe Tyrini, Subtribe Tyrina**
69. ヤマオトゲアリヅカムシ *Lasinus monticola* K. Sawada, 1961
70. ミカドオトゲアリヅカムシ *Lasinus mikado* Bekchiev et al., 2013
71. アシナガアリヅカムシ *Labomimus reitteri* Sharp, 1883
72. *Labomimus* sp. 1* 恵那市アライダシ原生林

73. *Tyrodos* sp. 1 郡上市八幡町那比ヒゲブトアリヅカムシ上族 Supertribe Clavigeritae
Tribe Clavigerini, Subtribe Clavigerina74. コヤマトヒゲブトアリヅカムシ近畿北陸亜種
Diartiger fossulatus ispartae (Karaman, 1969)75. クボタヤマトヒゲブトアリヅカムシ *Diartiger kubotai* Nomura, 1997

4. 考察

以上により、岐阜県下から 75 種のアリヅカムシが記録された。これは近隣の府県に比べて遜色はない。種数の上では京都府 (87 種)、三重県 (79 種) に後れを取っているが、差を縮め追い越すことは決して不可能ではない。

県土の広い岐阜県で、これ以上に種数を増やそうと試みるならば、採集法を変えるよりも、これまでに調査が不十分な地域を広く網羅することが重要と思われる。

岐阜県は日本に冠たる山岳地帯である北アルプス、中央アルプスを擁しているながら、高山特有のアリヅカムシがまったく検出されていない。これは現状では残念な点であるが、将来に向けては大いに期待が持てる。基本的にアリヅカムシは高山に生息することの難しい暖地性のグループであるが、オノヒゲアリヅカムシ上族や、*Arthromelodes* 属に高山限定の種が知られている。ただ、それらが採集されているのは、針葉樹林帯以下であって、森林限界以上のハイマツ帯や高山礫地帯では吹き上げによるであろう記録を除いては、アリヅカムシは発見されていない。

ちなみに日本本土において最も高い標高で採集されたアリヅカムシの記録は、富士山 5 合目付近、2,450 m におけるアルマンオノヒゲアリヅカムシ (*Bryaxis harmandi* Raffray, 1909) である (野村, 2003)。またそれ以前の最高標高記録は、同じくオノヒゲアリヅカムシの未記載種で、尾瀬の燧ヶ岳山頂 (2,345 m) であった (野村, 1998)。野村は、乗鞍岳長野県側の 2,450 m 付近で採集されたウエノツヤアリヅカムシ *Batriscenellus uenoi* の標本を所蔵しており、北アルプスにおいても、このあたりまでアリヅカムシが生息していることは確実である。この採集地点の植生は、ハイマツ帯のすぐ下の背の低いダケカンパが叢生している低木林である。

一方、今回のリストでは、主にブナ、ミズナラ帯の林床の落ち葉層に生息する一通りの種は記録された感があるが、まだ調査は十分とは言えない。しかし、上記したように、高山の針葉樹林帯や、

逆に平地に近い照葉樹林帯の調査が不足していると思われ、特に照葉樹林帯に特徴的なフジヤマダルマアリヅカムシやハナダカアリヅカムシがリストに含まれていない点が不思議でさえある。

好蟻性種の調査は、ヤマトヒゲブト属の 2 種、ヒゲカタアリヅカムシの 2 種、エグリチイロ、ツヤチイロは出ているので、基本は抑えられているようである。しかし *Basitrodes* 属の記録はまったくなく、*Batriscodellus* の好蟻性種の記録もない。またクロジュズヒゲやヒメヒゲブトなど、独自の宿主をもつ好蟻性種も未記録なので、今後の調査を期待したい。

樹林から離れて草原性のファウナを探することも重要である。濃尾平野の河川敷や休耕地、山腹の湿地やススキ原には草原性種がすみついている可能性がある。一般に草原性のアリヅカムシは、一か所に生息する種数は少ないが、他の環境には見いだされない場合が多い。クシヒゲアリヅカムシ族のように草原に特異的に生息するグループも知られている。

以上に挙げたような多面的な取り組みによって、さらに調査の精度を上げることは可能であろう。岐阜県におけるアリヅカムシ相の解明は、岐阜県の立地や植生を考えると、きわめて重要であろう。特に地元の研究者、採集者の奮起を期待したい。

謝辞

本稿の作成に当たり、岐阜県の情報について全面的にサポートいただき、2015 年度のハネカクシ談話会の採集会をお世話いただいた、高井泰氏に厚く御礼申し上げます。貴重な標本のご提供を頂いた、三重県四日市市の横関秀行氏にも感謝の意を表す。

本論文の一部は科研費新学術領域「生物規範工学」の計画研究「バイオミメティクス・データベース構築」(課題番号: 24120002; 代表者: 野村周平) の助成を受けている。

引用文献

- Nomura, S., 2001. A taxonomic revision of the Japanese species of the genus *Pselaphogenius* (Coleoptera, Staphylinidae, Pselaphinae) part 3, species from Central Honshu. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (37): 279–291.
- 野村周平, 1998. 尾瀬におけるアリヅカムシ相とその垂直分布. 尾瀬総合学術調査団編, 尾瀬の総合研究, pp. 591–600.
- 野村周平, 2003. アリヅカムシ類. 環境省委託業務報告書, 山梨県, 富士北麓生態系調査会編, 平成 14 年度生態系多様性地域調査 (富士北麓地域) 調査報告書, pp. 185–188.
- 野村周平, 2013. 片知のペタロ物語. ハネカクシ談話会ニュース, (41): 13–15.
- 野村周平・鈴木 功, 1993. 岐阜県内で採集されたアリヅカムシ. 啓蟄, 10 (29): 31–33.
- 柴田泰利・丸山宗利・保科英人・岸本年郎・直海俊一郎・野村周平・Volker Puthz・鳥田 孝・渡辺泰明・山本周平, 2013. 日本産ハネカクシ科総目録. 九州大学総合研究博

物館研究報告, (11): 69–218.
 豊島健太郎・青木哲郎・木野村恭一・桐山 功・野平照雄・
 高井 泰, 2015. III コウチュウ目. 岐阜県昆虫分布研究

会編「岐阜県昆虫目録」, 790 pp.

(2015年12月10日受領, 2016年2月12日受理)

【短報】ニホンホホビロコメツキモドキの沓岐からの初記録

ニホンホホビロコメツキモドキ *Doubledaya bucculenta* Lewis, 1884 (オオキノコムシ科コメツキモドキ亜科) (図1) は雌成虫の左側の大顎と頬が発達し、著しい左右不相称を示す (Toki & Togashi, 2011). 雌は、その発達した大顎を使って枯れて間もない竹 (メダケ, アズマネザサ, リュウキュウチク, ナリヒラダケの一種) に孔をあけて産卵し (林, 1974; Toki, 2009; Toki & Hosoya, 2011), 同時に共生酵母を接種する (Toki *et al.*, 2013). 孵化した幼虫はその節間内で酵母を食べて育つ (Toki *et al.*, 2012). 本種はこれまでに、本州 (北は岩手県まで), 四国, 九州, 大隅諸島 (黒島, 口永良部島), トカラ列島 (中之島, 臥蛇島, 悪石島, 宝島) から記録されているが (藤田, 1978; Toki, 2009; Toki & Hosoya, 2011), 沓岐からの記録はない. 第一筆者は沓岐を調査し、枯れたメダケ節間内から下記のとおり成虫および幼虫を得ているのでここに報告する.

成虫: 5♀♀. 長崎県沓岐市芦辺町箱崎江角触, 33°50'27.0"N, 129°44'53.5"E, Alt. 73 m. 9. I. 2016. 松尾採集・保管. 成虫: 2♂♂, 8♀♀; 幼虫: 3 exs. 長崎県沓岐市芦辺町箱崎大左右触, 33°49'43.4"N, 129°45'00.6"E, Alt. 31 m. 10. I. 2016. 松尾採集, 松尾・土岐保管.

本種は長崎県レッドリストにおいて準絶滅危惧種とされているが (長崎県環境部自然環境課・長崎県絶滅のおそれのある野生動植物選定委員会, 2013), 沓岐においては各所にメダケが群生しており、本種は島内に広く生息しているかもしれない.

沓岐に生息するコメツキモドキ亜科は、ケシコ



図1. メダケ節間内のニホンホホビロコメツキモドキ雌成虫, 長崎県沓岐市.

メツキモドキ *Microlanguria jansonii jansonii* (Crotch, 1873) とツマガロヒメコメツキモドキ *Anadastus praeustus* (Crotch, 1873) の2種が報告されている (今坂, 2012; Matsuo & Hara, 2015). したがって、本種を加えると全部で3種となった.

末筆ながら、本種の分布に関して文献をお送りいただいた吉富博之准教授 (愛媛大学ミュージアム) に厚くお礼申し上げる.

引用文献

- 藤田 宏, 1978. 無名採集地ルボ鹿児島県三島村. 月刊むし, (92): 16–25.
- 今坂正一, 2012. 2009年6月沓岐の甲虫採集記—長崎県RDB見直し調査の一環として, 付き記録の纏め—. かがねむし, (78): 26–51.
- 林 長閑, 1974. ニホンホホビロコメツキモドキの生態. 昆虫と自然, 9(7): 17.
- Matsuo, S. & Y. Hara, 2015. Checklist of lizard beetles (Coleoptera, Erotylidae, Languriinae) of islands of Tsushima and Iki-noshima, Japan. *Elytra*, New Series, 5(1): 123–128.
- 長崎県環境部自然環境課・長崎県絶滅のおそれのある野生動植物選定委員会, 2013. 13RDB 昆虫類 (公表用). In 【改訂版】長崎県レッドリスト (維管束植物, 貝類一部修正後). URL <https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2013/07/1373430365.pdf> (2016年1月23日アクセス)
- Toki, W. 2009. New host plants and additional records of asymmetric lizard beetle *Doubledaya bucculenta* Lewis, 1884 (Coleoptera: Erotylidae: Languriinae) in distributional northernmost region. *Biogeography*, 11: 109–111.
- Toki, W. & K. Togashi, 2011. Exaggerated asymmetric head morphology of female *Doubledaya bucculenta* (Coleoptera: Erotylidae: Languriinae) and ovipositional preference for bamboo internodes. *Zoological Science*, 28: 348–354.
- Toki, W. & T. Hosoya, 2011. New host plant and southernmost records of asymmetric lizard beetle *Doubledaya bucculenta* Lewis (Coleoptera, Erotylidae, Languriinae). *Elytra*, New Series, 1(2): 253–254.
- Toki, W., M. Tanahashi, K. Togashi, & T. Fukatsu, 2012. Fungal farming in a non-social beetle. *PLoS ONE*, 7(7): e41893.
- Toki, W., Y. Takahashi, & K. Togashi, 2013. Fungal garden making inside bamboos by a non-social fungus-growing beetle. *PLoS ONE*, 8(11): e79515.

(松尾 進 817-0011 対馬市厳原町宮谷 98
和貴寮 411)

(土岐和多瑠 520-2113 大津市平野 2-509-3
京都大学生態学研究センター)